貯　　法：密栓し、遮光して室温保存。
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）
注　　意：取扱い上の注意の項参照

【禁忌（次の場合には使用しないこと）】

（1）クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
（2）脳、脊髄、耳（内耳、中耳、外耳）［聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。］
（3）腟、膀胱、口腔等の粘膜面［クロルヘキシジン製剤の前記部位への使用により、ショック症状（初期症状:悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等）の発現が報告されている。］
（4）眼

【組成・性状】

1.組成　100mL中
クロルヘキシジングルコン酸塩　5g（5w/v%）
及び添加物としてラウロマクロゴール、ジメチルラウリルアミンオキサイド、赤色227号、香料 含有。
2.性状　赤色澄明な液で、芳香がある。
水、メタノール、エタノール（95）と混和し、4倍容量以下のアセトンに溶ける。
pH：5.5～7.0、比重d^{20}_{20}：1.01～1.03

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量（本品希釈倍数／希釈液）
手指・皮膚の消毒	クロルヘキシジングルコン酸塩として0.1～0.5%水溶液を用いる。 （10～50倍／精製水又は常水）
手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒	クロルヘキシジングルコン酸塩として0.1～0.5%水溶液を用いる。 （10～50倍／精製水又は常水）
	又は、クロルヘキシジングルコン酸塩として0.5%エタノール溶液を用いる。 （10倍／消毒用エタノール）
皮膚の創傷部位の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	クロルヘキシジングルコン酸塩として0.05%水溶液を用いる。 （100倍／精製水又は常水）

【使用上の注意】

1.慎重投与（次の場合は慎重に使用すること）

（1）薬物過敏症の既往歴のある者
（2）喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者

2.重要な基本的注意

（1）ショック等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
（2）本剤は必ず希釈し、**濃度に注意して**使用すること。
（3）創傷部位に使用する希釈水溶液は、調製後滅菌処理すること。
（4）産婦人科用（腟・外陰部の消毒等）、泌尿器科用（膀胱・外性器の消毒等）には使用しないこと。
（5）本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。

3.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

（1）重大な副作用
ショック（0.1%未満）があらわれることがあるので観察を十分に行い、悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

（2）その他の副作用
過敏症：発疹・蕁麻疹等（0.1%未満）がみられることがあるので、このような症状があらわれた場合には直ちに使用を中止し、再使用しないこと。

4.適用上の注意

投与経路:外用にのみ使用すること。
使用時:
（1）注射器、カテーテル等の神経や粘膜面に接触する可能性のある器具を本剤で消毒した場合は、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
（2）本剤の付着したカテーテルを透析に用いると、透析液の成分により難溶性の塩を生成することがあるので、本剤で消毒したカテーテルは、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
（3）血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は十分洗い落としてから使用すること。
（4）石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
（5）綿球・ガーゼ等は、本剤を吸着するので、これらを希釈液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下にならないように注意すること。
（6）本剤のエタノール溶液は引火性、爆発性があるため、**火気（電気メス使用等も含む）**には十分注意すること。

5.その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】

1.本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、一部の真菌には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。また、Opportunistic Pathogen（例えば*Pseudomonas, Serratia,Candida*等）の中には、本剤に抵抗性を示すものがある。

2.マスキン液（5w/v%）の殺菌作用
マスキン液（5w/v%）の10倍希釈液（0.5w/v%溶液）及び100倍希釈液（0.05w/v%溶液）は、*in vitro*の試験において黄色ブドウ球菌、枯草菌、大腸菌、緑膿菌等の細菌を15秒以内で殺菌し、迅速な殺菌効果が得られる。

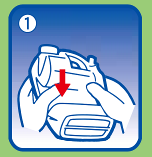
【取扱い上の注意】

1.本剤の希釈に常水を用いる場合、その中に含まれる硫酸イオン等の濃度により、白色の沈澱を生じることがあるので、希釈水溶液を調製する場合は、精製水を使用することが望ましい。
また、本剤の希釈に生理食塩液等を用いる場合、その中に含まれる陰イオンにより難溶性の塩を生成することがあるので、希釈水溶液を調製する場合は生理食塩液等を用いないこと。
2.本剤の希釈水溶液のpHが8以上の場合は、沈澱を生じる。
3.本剤を取扱う容器類は、常に清浄なものを使用し、希釈水溶液は、調製後直ちに使用すること。（水や容器は、微生物汚染を受けやすく、稀に消毒液に抵抗性を示す微生物が含まれることがある。）
4.手洗い等に使用する本剤の希釈溶液は、少なくとも毎日新しい溶液と取り換えること。
5.本剤の希釈水溶液は安定であるが、高温に長時間保つことは避けること。（高圧蒸気滅菌を行う場合は115℃30分、121℃20分、126℃15分で滅菌処理することができる。）
6.本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸塩で漂白すると、褐色のシミを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

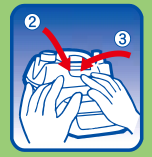
折りたたみ説明図

注意：折りたたむ際には液が残っているおそれがありますので取り扱いには注意してください。（フィルムラベルに記載されている注意をご参照願います。）

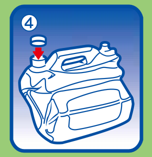
省資源化・ゴミの削減化の為、折りたたんで捨てられる減容容器を使用しています。



①両手で上から押さえる様に容器の空気を抜きながら、折り目に沿ってたたみます。



②③上下を内側に折りたたみます。



④空気が入らない様にキャップをしめます。

外用殺菌消毒剤（クロルヘキシジン製剤）

マスキン®液（5w/v%）
MASKIN®SOLUTION（5w/v%）

うすめて使用

5w/v%

5L

2014年9月改訂（第6版）	
日本標準商品分類番号	872619
承認番号	15000AMZ00159
薬価収載	1976年9月
販売開始	1976年9月
再評価結果	1992年6月

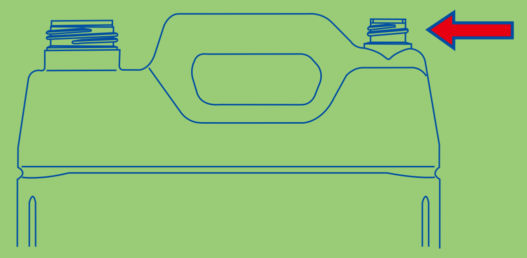
注意　1.外用にのみ使用すること。
2.本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

製造販売元
丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

マスキン®液（5w/v%）

空気穴（赤矢印部分）の取り扱い

- 空気穴（赤矢印部分）は空気圧を調節するためのものであり、使用時にはキャップをはずして、使用後はしっかりと閉めてください。
- 容器の傾けの程度により空気穴から液が漏れることがありますので、液をそそぐ際、空気穴に液が触れないように注意してください。



キャップ:PP
ボトル:PE
ラベル:PE

〈調剤包装単位用コード〉
(01)04987211260552

〈販売包装単位用コード〉
(01)14987211160552

貯　　法：密栓し、遮光して室温保存。
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）
注　　意：取扱い上の注意の項参照

【禁忌（次の場合には使用しないこと）】

（1）クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
（2）脳、脊髄、耳（内耳、中耳、外耳）［聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。］
（3）膣、膀胱、口腔等の粘膜面［クロルヘキシジン製剤の前記部位への使用により、ショック症状（初期症状:悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等）の発現が報告されている。］
（4）眼

【組成・性状】

1.組成　100mL中
クロルヘキシジングルコン酸塩　5g（5w/v%）
及び添加物としてラウロマクロゴール、ジメチルラウリルアミンオキサイド、赤色227号、香料 含有。

2.性状　赤色澄明な液で、芳香がある。
水、メタノール、エタノール（95）と混和し、4倍容量以下のアセトンに溶ける。
pH:5.5～7.0 、　比重d^{20}_{20}:1.01～1.03

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量（本品希釈倍数／希釈液）
手指・皮膚の消毒	クロルヘキシジングルコン酸塩として0.1～0.5%水溶液を用いる。 （10～50倍／精製水または常水）
手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒	クロルヘキシジングルコン酸塩として0.1～0.5%水溶液を用いる。 （10～50倍／精製水または常水）
	または、クロルヘキシジングルコン酸塩として0.5%エタノール溶液を用いる。 （10倍／消毒用エタノール）
皮膚の創傷部位の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	クロルヘキシジングルコン酸塩として0.05%水溶液を用いる。 （100倍／精製水または常水）

【使用上の注意】

1.慎重投与（次の場合は慎重に使用すること）

（1）薬物過敏症の既往歴のある者
（2）喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者

2.重要な基本的注意

（1）ショック等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
（2）本剤は必ず希釈し、**濃度に注意して**使用すること。
（3）創傷部位に使用する希釈水溶液は、調製後滅菌処理すること。
（4）産婦人科用（膣・外陰部の消毒等）、泌尿器科用（膀胱・外性器の消毒等）には使用しないこと。
（5）本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。

3.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

（1）重大な副作用
ショック（0.1%未満）があらわれることがあるので観察を十分に行い、悪心・不快感・冷汗・眩暈・胸内苦悶・呼吸困難・発赤等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

（2）その他の副作用
過敏症：発疹・蕁麻疹等（0.1%未満）がみられることがあるので、このような症状があらわれた場合には直ちに使用を中止し、再使用しないこと。

4.適用上の注意

投与経路:外用にのみ使用すること。
使用時:
（1）注射器、カテーテル等の神経や粘膜面に接触する可能性のある器具を本剤で消毒した場合は、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
（2）本剤の付着したカテーテルを透析に用いると、透析液の成分により難溶性の塩を生成することがあるので、本剤で消毒したカテーテルは、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
（3）血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は十分洗い落としてから使用すること。
（4）石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
（5）綿球・ガーゼ等は、本剤を吸着するので、これらを希釈液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下にならないように注意すること。
（6）本剤のエタノール溶液は引火性、爆発性があるため、**火気（電気メス使用等も含む）**には十分注意すること。

5.その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】

1.本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、一部の真菌には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。また、Opportunistic Pathogen（例えばPseudomonas, Serratia,Candida等）の中には、本剤に抵抗性を示すものがある。

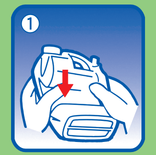
2.マスキン液（5w/v%）の殺菌作用
マスキン液（5w/v%）の10倍希釈液（0.5w/v%溶液）及び100倍希釈液（0.05w/v%溶液）は、in vitroの試験において黄色ブドウ球菌、枯草菌、大腸菌、緑膿菌等の細菌を15秒以内で殺菌し、迅速な殺菌効果が得られる。

【取扱い上の注意】

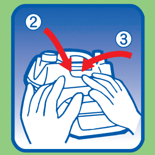
1.本剤の希釈に常水を用いる場合、その中に含まれる硫酸イオン等の濃度により、白色の沈澱を生じることがあるので、希釈水溶液を調製する場合は、精製水を使用することが望ましい。
また、本剤の希釈に生理食塩液等を用いる場合、その中に含まれる陰イオンにより難溶性の塩を生成することがあるので、希釈水溶液を調製する場合は生理食塩液等を用いないこと。
2.本剤の希釈水溶液のpHが8以上の場合は、沈澱を生じる。
3.本剤を取扱う容器類は、常に清浄なものを使用し、希釈水溶液は、調製後直ちに使用すること。（水や容器は、微生物汚染を受けやすく、稀に消毒液に抵抗性を示す微生物が含まれることがある。）
4.手洗い等に使用する本剤の希釈溶液は、少なくとも毎日新しい溶液と取り換えること。
5.本剤の希釈水溶液は安定であるが、高温に長時間保つことは避けること。（高圧蒸気滅菌を行う場合は115℃30分、121℃20分、126℃15分で滅菌処理することができる。）
6.本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸塩で漂白すると、褐色のシミを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

折りたたみ説明図

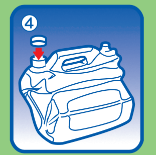
注意：折りたたむ際には液が残っているおそれがありますので取り扱いには注意してください。（ラベルに記載されている注意をご参照願います。
省資源化・ゴミの削減化の為、折りたたんで捨てられる減容容器を使用しています。



①両手で上から押さえる様に容器の空気を抜きながら、折り目に沿ってたたみます。



②③上下を内側に折りたたみます。



④空気が入らない様にキャップをしめます。

外用殺菌消毒剤（クロルヘキシジン製剤）

マスキン®液（5w/v%）
MASKIN®SOLUTION（5w/v%）

うすめて使用

5w/v%

5L

2008年6月改訂（第5版）	
日本標準商品分類番号	872619
承認番号	15000AMZ00159
薬価収載	1976年9月
販売開始	1976年9月
再評価結果	1992年6月

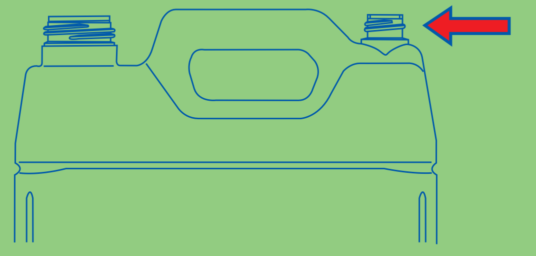
注意　1.外用にのみ使用すること。
2.本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

製造販売元
丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

マスキン®液（5w/v%）

空気穴（赤矢印部分）の取り扱い

- ●空気穴（赤矢印部分）は空気圧を調節するためのものであり、使用時にはキャップをはずして、使用後はしっかりと閉めてください。
- ●容器の傾けの程度により空気穴から液が漏れることがありますので、液をそそぐ際、空気穴に液が触れないように注意してください。



プラ
キャップ:PP
ボトル:PE
ラベル:PE

JAN
4 987211 160555

GS1-RSS
(01)14987211160552